

令和8年度 授業改善推進プラン(理科)

台東区立桜橋中学校

学年	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
1年	基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるとともに、観察・実験の結果や文章、図・表などから必要な情報を正確に読み取り、それを根拠として自分の考えを表現する力を育成する必要がある。特に、観察した事実や得られた結果と、そこから考えられることを区別し、根拠を明確にして説明する力を身に付けることが課題である。	基礎的・基本的な知識及び観察・実験の技能を身に付け、観察・実験の結果や図・表などから必要な情報を読み取る力を育成する。また、得られた事実を根拠として、自らの考えを科学的に表現する力を育成する。	観察・実験において、観察した事実や測定した結果を正確に記録し、「結果」と「考察」を区別して整理する活動を継続的に取り入れる。また、図・表などの資料から必要な情報を読み取る活動や、「どの結果を根拠にそう考えたのか」を意識して説明する活動を設定する。基礎的・基本的な内容については、授業内での確認や振り返りを継続して行い、知識・技能の定着を図る。
2年	基礎的・基本的な知識や技能については一定程度身に付いている一方で、学習内容の定着には個人差が見られる。また、観察・実験の結果や図・表などの情報を基に、既習事項と関連付けて理由を説明したり、自分の考えを表現したりすることに課題が見られる。特に、複数の知識を関連付けて生命現象の仕組みを説明する場面では、必要な情報を選択し、根拠を明確にして表現する力を育成する必要がある。	基礎的・基本的な知識及び観察・実験の技能を確実に身に付けるとともに、観察・実験の結果や図・表などから必要な情報を読み取り、既習事項と関連付けて科学的に考察する力を育成する。また、自らの考えを根拠とともに適切に表現し、生命現象の仕組みや規則性について説明できる力を育成する。	授業の導入や振り返りにおいて既習事項を継続的に確認し、基礎的・基本的な知識の定着を図る。観察・実験では、「結果」と「考察」を区別するとともに、結果から分かることを既習事項と関連付けて説明する活動を設定する。また、図やモデル、表などを活用して考えを整理する活動や、「根拠→考え」の流れを意識した記述活動を取り入れ、科学的に説明する力を段階的に育成する。
3年	基礎的・基本的な知識や典型的な問題については一定程度定着している一方で、観察・実験の結果や図・表、モデルなど複数の情報を関連付けて考察することに課題が見られる。特に、実験結果が生じた理由を既習事項を用いて説明したり、条件を変えた場合の結果を予測したりする場面では、知識を活用して論理的に考え、表現する力に課題がある。	既習の知識や技能を相互に関連付け、観察・実験の結果や図・表、モデルなどの情報を科学的に分析・解釈する力を育成する。また、根拠となる情報を適切に選択し、因果関係を明確にしながら、自らの考えを科学的に説明したり、条件の変化に応じた結果を予測したりする力を育成する。	観察・実験や問題解決の場面において、結果を確認するだけでなく、「なぜその結果になったのか」「条件を変えるとどうなるか」まで考察する活動を継続的に設定する。図・表・モデルなど複数の情報を関連付けて考える活動を取り入れるとともに、根拠となる情報を明確にして説明する記述活動を充実させる。また、生徒同士で考えを比較・検討する活動や振り返りを通して、自らの考えを修正・改善する機会を設ける。